

新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成23年 2月 7日																				
		事業担当課		森林整備課																				
事業名	予防治山事業（キタイ沼沢）	補助・単独の別	補助	事業主体	県																			
施行地名	<small>かみぐん かみまちみやぎきぎた</small> 加美郡加美町宮崎字北地内			管理主体	県																			
根拠法令	森林法																							
事業概要	事業目的	<p>当該区域は、一級河川鳴瀬川水系田川の上流端部に位置し、下流域の農業用水の供給源となっている。また、加美町水道の水源にもなっており住民生活において重要な地域となっている。既設谷止工等の効果により大きな被害は発生していないが、近年の豪雨等により、既設谷止工よりも上流区間で河床低下や溪岸の浸食が著しく多量の不安定土砂が堆積している状態であることから、当区域の森林に対しては土砂流出防備のための公益的機能が期待される。</p>																						
	事業内容	<p>治山ダム 2基 土留工 3基</p>																						
	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 ()</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">内用地費</td> <td style="text-align: center;">[50 %]</td> <td style="text-align: center;">[50 %]</td> <td style="text-align: center;">[- %]</td> <td style="text-align: center;">[- %]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.20億円</td> <td style="text-align: center;">— 億円</td> <td style="text-align: center;">0.10億円</td> <td style="text-align: center;">0.10億円</td> <td style="text-align: center;">— 億円</td> </tr> </tbody> </table>				全体事業費	費用負担内訳				国	県	市町村	その他 ()	内用地費	[50 %]	[50 %]	[- %]	[- %]	0.20億円	— 億円	0.10億円	0.10億円	— 億円
	全体事業費	費用負担内訳																						
国		県	市町村	その他 ()																				
内用地費	[50 %]	[50 %]	[- %]	[- %]																				
0.20億円	— 億円	0.10億円	0.10億円	— 億円																				
事業期間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成23年度（1年間）</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成—年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> </table>				事業期間	平成23年度（1年間）			用地買収着手予定年度	平成—年度	工事着手予定年度	平成23年度												
事業期間	平成23年度（1年間）																							
用地買収着手予定年度	平成—年度	工事着手予定年度	平成23年度																					
施設管理の予定	<p>県が維持管理を行う。</p>																							

事業の必要性	上位計画等	<p>治山事業は、森林法に基づく「森林保全整備事業計画」により、豪雨等による山地災害を防止するとともに、これによる被害を最小限にとどめ地域の安全性の向上に資するため、保治山施設の設置と機能が低下した保安林の整備等を推進することとしている。</p> <p>県においても、「治山事業実施方針」により山地災害の復旧及び未然防止に努めることとしており、本地区で指定された山地災害危険地区での治山対策を推進している。</p>
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>○社会経済情勢</p> <p>* 災害発生時の影響 保全対象：人家4戸，公道2,900m，農地等3.0ha，浄水場1箇所</p> <p>* 過去の災害実績 近年の度重なる豪雨等により，本地区から流下した土砂により満砂状態となった下流の治山施設で土砂が越流し，下流域の農地等に影響を及ぼす等している。</p> <p>○地元情勢、地元の意見</p> <p>* 地域の協力体制等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元自治体による山地防災パトロール等の実施 ・ 水源かん養保安林指定地 ・ 山地災害危険地区（崩壊土砂流出危険地区）指定地
事業の有効性	事業効果	<p>○想定される事業効果</p> <p>治山ダムの設置により，荒廃のきざしのある溪流に存する不安定土砂を固定することにより，山地に起因する災害から直下の保全対象範囲の生命・財産などが保全される。</p>

事業の効	関連事業の概要・進捗状況等																						
	特になし。																						
	代替案との比較検討																						
	<p>荒廃のきざしのある溪流の溪床に堆積した不安定土砂の移動及び流下を抑制するため、これら抑止機能を高度に発揮する治山ダムを採用している。</p>																						
業の	コスト削減計画																						
	<p>本地区の溪床に堆積している不安定土砂には転石が含まれていることから、治山ダムを鋼製とし、これらの転石を中詰材に使用することにより、コストの削減を図っている。</p>																						
率性	費用対効果																						
	<p>根拠マニュアル：林野公共事業における事前評価マニュアル（平成22年3月） 社会的割引率：4% 便益算定期間：50年 基準年：平成23年</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">費用項目</td> <td>建設費</td> <td>23,558千円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">便益項目</td> <td>総費用</td> <td>23,558千円</td> </tr> <tr> <td>現在価値（C）</td> <td>23,558千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用便益比</td> <td>水源かん養便益</td> <td>3,237千円</td> </tr> <tr> <td>災害防止便益</td> <td>402,875千円</td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>406,106千円</td> </tr> <tr> <td>現在価値（B）</td> <td>406,106千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比（B/C）</td> <td>17.24</td> </tr> </table>		費用項目	建設費	23,558千円	維持管理費		便益項目	総費用	23,558千円	現在価値（C）	23,558千円	費用便益比	水源かん養便益	3,237千円	災害防止便益	402,875千円	総便益	406,106千円	現在価値（B）	406,106千円	費用便益比（B/C）	
費用項目	建設費	23,558千円																					
	維持管理費																						
便益項目	総費用	23,558千円																					
	現在価値（C）	23,558千円																					
費用便益比	水源かん養便益	3,237千円																					
	災害防止便益	402,875千円																					
	総便益	406,106千円																					
	現在価値（B）	406,106千円																					
費用便益比（B/C）		17.24																					

環境への影響と対策	地域指定状況等									
		特になし。								
環境への影響と対策	影響と対策									
		新たに計画した治山ダム工はいずれも鋼製で、流木等浮遊物の捕捉に加え、水質の改善効果も期待できる工法である。								
総合評価	事業箇所評価結果									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予防治山事業 (新規事業箇所)</td> <td></td> <td rowspan="2">事業に係る保全対象数が人家4戸であるなど評価が低いものの、下流には浄水場が存在し、水道の水源として住民生活において重要な森林であるため、将来災害が発生した場合、その影響は多大であると判断されることから予算化したものである。</td> </tr> <tr> <td>7位 / 7</td> <td>6箇所</td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	予防治山事業 (新規事業箇所)		事業に係る保全対象数が人家4戸であるなど評価が低いものの、下流には浄水場が存在し、水道の水源として住民生活において重要な森林であるため、将来災害が発生した場合、その影響は多大であると判断されることから予算化したものである。	7位 / 7	6箇所
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)							
	予防治山事業 (新規事業箇所)		事業に係る保全対象数が人家4戸であるなど評価が低いものの、下流には浄水場が存在し、水道の水源として住民生活において重要な森林であるため、将来災害が発生した場合、その影響は多大であると判断されることから予算化したものである。							
7位 / 7	6箇所									
総合評価	対応方針									
		事業実施								

現況写真



- ※1 (上) 治山ダム設置予定箇所の上流側の溪床には、不安定土砂が堆積しているとともに、溪岸侵食により立木が倒れており、将来土砂及び倒木が下流に流下する恐れがある。
 (下) 不安定土砂の発生源となる崩壊した山腹状況。治山ダム設置により不安定土砂の固定を図り、山腹の拡大崩壊を防止する。

治山ダム構造図

